

□ふれあいとうるおいのあるまち

地域情報紙 Vol.31 新春号  
No.113

# はばたき

□発行 地域力推進羽田地区委員会

□編集 はばたき20編集委員会



羽田特別出張所 職員一同

令和4年4月1日付けで羽田特別出張所に着任いたしました戸塚俊二と申します。

群馬県安中市出身で48歳の寅年、いて座の血液型はB型です。昨年度までは、羽田空港跡地のまちづくりに携わっておりましたので、こうして羽田特別出張所に着任したことは、この地域にご縁があつてのことと思っております。

この羽田地域には、空の玄関口である羽田空港、世界に産業や文化を発信する「羽田イノベーション」豪快で華やかな羽田まつり、古い歴史のある由緒正しき神社、漁師町の風情、自然あふれる多摩川など、歴史・文化・産

## 新春を迎えて 羽田特別出張所長着任のご挨拶

業・自然に関する多彩な魅力が溢れています。まさに地域力で世界にはばたく「国際都市おた」を感じることができ、この地域です。そして、地域のつながりを大切に、人情味溢れる温かい雰囲気のある地域です。

このような場所で、多くの人に出会い、羽田の多彩な魅力に触れながら、新たな仕事にチャレンジすることができ、喜びと希望でいっぱいであるとともに、身の引き締まる思いです。

未だ、終息の兆しが見えない新型コロナウイルスが確認された当時の未知のウイルスでした。最初の緊急事態宣言が発令された令和2年4月7日、あの頃、私たちは感染の恐怖におびえ、街は閑散とし、通勤電車もガラガラで、対面を基本とする地域活動やイベント等が中止となりました。これまで、四回の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症との戦いは、もう三年近くになります。ウイルスのメカニズムも徐々に解明され、ワクチンなどの感染対策が進んだ現在でも、感染に対する不安から活動の休止や縮小を余儀なくされています。

生活は一変し、これまでに築かれた関係やつながりが途切れてしまうことが心配されていた中で、令和4年度は羽田まつりが三年ぶりに挙行されました。規模を大幅に縮小したものでしたが、活気と笑顔に満ち溢れ、地域に元気を与えてくれる素晴らしいお祭りとなりました。

新型コロナウイルスに加え国際情勢も不安定な中ですが、この苦難を乗り越え誰一人取り残さない地域であるためには、人と人、人と地域がつながり続け、地域の力を結集することが大切です。羽田特別出張所としても、地域を支え、未来につなげていく源となる「地域力」を高めるため、羽田地域だからできることに積極果敢に取り組みでまいります。

引き続き、地域の皆さまとしっかりと連携させていただきながら、全力を尽くしてまいりますので、職員ともどもよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、故アントニオ猪木さんが引退の時に詠まれた詩をご紹介します。

「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。」

「一、二、三、ダァー!」と言いたくありませんが、不安で最初の一歩が踏み出せないときに、勇気を与え、背中を押してくれる詩です。

## 学校法人 簡野学園 創立80周年 次の90周年、100周年に向けて



令和6年新校舎完成イメージ

本学園は、学祖簡野道明の遺志により設立された学園です。簡野道明は、東京府師範学校(現 東京学芸大学)教諭、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大学)教授を歴任された教育者であり、また漢文学者として、数多くの検定漢文教科書や注釈書、漢和字典『字源』等の辞典を執筆された近代漢文教育のパイオニアでもありました。

簡野道明は「清・慎・勤」の精神に基づき、「心も姿も美しく、思いやりを大切に、目標に向かって自ら行動する」との教育観と、自己の著作による財産

を、いつか広く社会に還元しようと考えていました。

その遺志を実現するため、夫人の簡野信衛によって昭和16年に「財団法人 簡野育英会」が発足、同年4月「蒲田高等女学校」が設立されました。また、昭和26年3月には法改正により「学校法人簡野育英会」と改称。その後、昭和30年に地域の高い要請を受け「附属幼稚園」を開園。そして、昭和48年に堅実な保育者の育成を目指す「蒲田保育専門学校」が開校されました。更に、平成26年に女性の社会進出と待機児童解消のため大田区認定小規模保育所である「蒲田保育専門学校ふぞく保育室」を開室。平成28年に、大田区立保育園の民営化に伴い「蒲田保育専門学校ふぞく北糀谷保育園」を開園。平成29年に京急・羽田空港線「糀谷駅前再開発事業」に伴い、駅隣接の「ステーションタワー糀谷」内に新たに「蒲田保育専門学校ふぞく糀谷駅前保育園」を開園。平成31年に「蒲田保育専門学校ふぞく六郷保育園」を、令和3年4月には「蒲田保育専門学校ふぞく東六郷保育園」を新たに開園しました。



学校法人 簡野学園



令和3年に80周年を迎え、令和4年に法人名を「学校法人 簡野学園」に改め、専門学校名を「簡野学園羽田幼児教育専門学校」幼稚園名を「簡野学園ふぞく幼稚園」保育室・保育園名を「簡野学園ふぞく保育室」「簡野学園ふぞく北糀谷保育園」「簡野学園ふぞく糀谷駅前保育園」「簡野学園ふぞく六郷保育園」「簡野学園ふぞく東六郷保育園」に変更。また、同月に「簡野学園ふぞく仲六郷保育園」を開園しました。

令和6年には「蒲田女子高等学校」を共学化し、校舎を新設・リノベーションいたします。更に校名を「羽田国際高等学校」(予定)に改め、令和7年には「羽田国際中学校」(予定)を開校いたします。

これからも社会や地域の皆様から、より信頼される学園を目指して一層努力して参ります。

☆ 編集後記 ☆

皆様、新年あけましておめでとうございます。長い間ご尽力いただきました篠川善次様より引継ぎました私、伊藤幸子と、石井悦子、兼平恵美子、渡部昌子4名とはばたき委員で頑張りますので宜しくお願いいたします。

昨年の夏、新型コロナウイルス第7波で感染者が多く、羽田神社例大祭が心配されましたが、コロナ対策をして3年ぶりに疫病鎮静祈願で神社神輿が巡行されました。人々は感動されていました。これからもしっかりとコロナ対策をして行事が行われる事でしょう。はばたき編集委員も行事に参加させていただき、色々な情報をお伝えしたいと思います。

皆様のご意見ご投稿お待ちしております。今年もはばたき編集委員は頑張りますので宜しくお願いいたします。

はばたき20編集委員長

伊藤 幸子

※今号発行に際しては、公益財団法人 伊東奨學會の寄付金が活用されています。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。